

2017 春闘 職場の声が大事です 分会を開いて、以下のテーマ について話し合みましょう！

2017 春闘分会討議資料 正規版

ユーコープ労働組合
本部事務所 045-319-4891

◇1月11日(水)から1月30日(月)までの間に分会を開催して下さい。分会ではこの討議資料を見ながら話し合い、「分会開催報告書」に話し合った内容・出された意見を記入して、労働組合書記局へメールカバンまたは FAX で送って下さい。

◇理事会に対する要求は、2月4日(土)の中央委員会で決定し、当日提出します。回答指定日は2月18日(土)です。労使交渉期間は、3月18日(土)から4月8日(土)の予定です。

1. 「ベア1万円」「一時金3.4ヶ月」要求を提案

●昨年秋の「生活・労働実感アンケート」では、正規職員の65%が「生活が苦しい」と答え、春闘でもっとも実現して欲しいこととして、59%の人が「ベースアップ」をあげています。昨春闘ではベースアップ1000円を実現しましたが、定期昇給は平均2925円、調整給取崩しを差し引くと平均▲271円の「マイナス定期昇給」でした。ベースアップを足してやっと平均729円(0.21%)のアップで、他生協や他企業の水準を大きく下回るものです。これらのことから中央執行委員会は、「基本給ベースアップ1万円要求」を提案します。

●昨秋のアンケートでは、66%が「一時金アップが春闘でもっとも実現して欲しいこと」と答えています。2015年は、2014年比0.4ヶ月アップの年間2.5ヶ月に前進し、理事会は「2018年度に年間3.4ヶ月への回復を目指す」と約束しました。働くものの立場からすれば、「少なくとも3.4ヶ月への回復」は1年でも早く実現させるべき水準です。中央執行委員会は、2017年度一時金は「年間3.4ヶ月要求」を提案します。

2. 明るく働きやすい職場づくりの要求

職場の問題点をみんなで出し合い、働くルールを確立しましょう！

●16年秋闘確認に基づき、店舗での不払労働根絶に向けて労使で徹底した取り組みを開始します
不払い労働は、賃金不払いの違法行為であり、実際に働いた労働時間を見えなくさせ、作業改善や生産性向上の実態が不明となり経営管理の根本を崩壊させるものです。—— ①働いた時間はすべてつける。②36協定よりサービス残業の根絶を最優先する。③店長は就労時間・実態を正確に把握し残業の要因を把握する。④店舗で改善できることは担当者と一緒に取り組み無駄な作業は止める。⑤教育や本部側の問題であれば現場の実態として提起し改善を進める —— 労使共同の取り組みとして現場で徹底して行っていきます。労使協議会で進捗の認を行い、追加施策等を講じながら不払い労働・サービス残業根絶に取り組みます。

●昨年秋の「生活・労働実感アンケート」では、春闘でもっとも実現して欲しいこととして、正規職員の36%が「人員不足解消」、22%が「有休取得率向上」、16%が「仕事と生活の両立支援」、15%が「職場運営の改善」をあげています。

3. 働く者の暮らしと権利を守る社会的要求

●「ヒバクシャ国際署名」に取り組みましょう！

理事会とともに2月から取り組む予定です。労組員1人5筆(さらにできる方は10筆)の署名を、家族・友人・知人などから集め、核廃絶の世論を広げましょう。

●「全国一律最低賃金制度の実現を求める請願署名」に取り組みましょう！

最低賃金の地域間格差は最大で218円に広がりました。ユーコープで働くパート職員の基本時給も最低賃金に影響され、最大で100円の格差となっています。「同じ仕事をしているのに、働く場所が違っただけでこんなに時給に格差があるのはおかしい」という不満を解消するためにも、「だれでも、どこでも、最低賃金1000円以上！」は、緊急に実現すべき課題です。

●10%への消費税率アップ、労働法制改悪、原発再稼働、社会保障改悪など、安倍政権の暴走にストップをかけましょう！

☞ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える「ヒバクシャ国際署名」とは？

被爆から72年目を迎える今も、約19万人の被爆者が心や体に原爆の深い傷を持ち苦しんでいます。「核兵器と人類は共存できない」「後世の人びとが生き地獄を体験しないように、私たちが生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したい」との思いから、平均年齢80歳を超えたヒロシマ・ナガサキの被爆者が国際署名を始めました。

一方で日本政府は、口では唯一の被爆国と言いながら、国連総会ではいつも、核兵器禁止条約の交渉開始を求める決議に棄権し続けています。2016年秋には核兵器禁止条約の交渉会議を2017年に関くという決議が国連総会で採択されました。ところが、核兵器廃絶の先頭に立つべき日本政府は決議に反対票を投じました。「政府に裏切られた」と被爆者や国民が怒りの声を上げるのは当然です。日本政府は「核保有国と非核保有国の対立を助長するから」と反対理由を上げていますが、核兵器禁止条約に強硬に反対している核保有国を説得することこそが日本の役割ではないでしょうか。

昨年4月1日、安倍内閣は核兵器の保有だけでなく、核兵器の使用についても憲法上「妥当」との答弁書を閣議決定しました。稲田防衛大臣は8月5日、「憲法上、必要最小限度がどのような兵器であるかという限定がない」と、日本の核兵器保有について記者会見で否定しませんでした。一昨年4月に改定された、日米新ガイドライン(日米防衛協力の指針)には米国は引き続き日本に対し「核の傘」を提供することが明記されました。ここに日本政府が国連総会で決議に反対した本当の理由があります。

日本を被爆国、そして平和憲法をもつ国にふさわしく、核兵器全面禁止のために行動する国に変えましょう。被爆者が訴える核兵器廃絶の国際署名をみんなで推進しましょう。

4. 役割等級制度見直し要求

現行役割等級制度の運用改善要求については、今春闘で要求します。制度改善要求については、今後も労組内の議論を継続し、3年をめぐりに「定年延長」と合わせて労使合意を目指すことを、中央執行委員会として提案します。

(1) 今春闘で要求すること ～運用改善要求～

- ①「組織の都合」で職務が変更されたことで、2段階・3段階も役割等級が下げられ、生活設計に支障をきたすという意見が、労組員から寄せられています。職務変更にもなう役割等級の降格は1等級分のみとすることを求めます。

<秋闘分会で出された意見>

- *生活がかかっているので、2～3段階等級は下げないでほしい。
- *人事考課の結果にもなう等級変更は、問題ないと考えますが、組織都合による等級変更は、納得性に欠ける場合が多いのではないかと。
- *年齢が上がると、等級が下げられる現実。2段階、3段階も等級が下げられる現実。将来的に、若い職員への不安になる。
- *等級の下がり方は1段階ずつにしてほしい。

- ②チーフ不在店舗のサブチーフや宅配センターの供給主任代行・営業主任代行、ご案内ルームの主任代行のように、A3等級の職員がB1等級の職務を担っている事例があります。「数値責任は上長が負っているから問題ない」という理事会の主張は、納得性に欠けます。実際に担っている職務にふさわしい役割等級への格付けを求めます。

<秋闘分会で出された意見>

- *等級が低いのに、上の仕事をさせられている人は多い。それで、給与は低いままとかありえない。
- *チーフ不在のチーフ職。等級をあげてほしい。
- *同じ質の仕事をしていて、役割等級が違うのがおかしい。
- *主任もどきの人がいる。
- *営業主任が居ないので、主任代行になっているが、Aランクのまま。

- ③供給高の高い店舗の副店長に比べて、供給高の低い店舗の副店長の方が、諸作業の習熟度がより求められる実態があります。供給高で一律に線引きしている、店長・副店長の役割等級の区分方法について、改善を求めます。

<秋闘分会で出された意見>

- *副店長の等級問題はそれとおおり、おかしいと感じている。店舗供給高で等級を決めていることは矛盾がある。
- *店長、副店長の等級の線引きは、確かに分かりづらい。
- *役割等級は副店長なら同じ等級でいいと思う。
- *副店長の等級問題は指摘のとおり状況だ。

(2) 労組内で議論を継続すること～制度改善を必要とする問題点～

- ①A1、A3などの等級では、天井の号棒に張り付いている職員比率が異様に高くなっています。

<秋闘分会で出された意見>

- *等級で天井の号棒の職員についての考え方を見直してほしい。
- *天井に張り付く人が多くなるのは導入時からわかっていた。
- *仲間うちでも話すことがあるが、書いてある通りで、A1、A3などの等級で、号棒の上井に張り付いている人が多いので改善を・・・。

- ②年齢が上がると多くの職員が等級を下げられています。基本給も55歳を過ぎると下がる制度であり、二重に収入減となってしまいます。

<秋闘分会で出された意見>

- *55歳を過ぎると先が見えない。
- *年齢が上がると、等級や基本給が引き下げられ、収入減とのるのは、どうかと思う。
- *一定の年齢で等級が下がり、収入も減となってしまう、将来への意欲が下がる。
- *55歳から年齢が下がるのは困る。晩婚化で60歳でも末っ子が20才位になる為、教育費がかかる。
- *基本給は下げないでほしい。

- ③B3の役割給が低すぎて、B2からB3に上がると残業代がつかない分、賃金が下がることがあります。

<秋闘分会で出された意見>

- *B3店長の不遇、B2の副店長が、10時間残業をするとほぼ同額。責任の重さ等からもっと評価されてもいいのでは。
- *副店長が店長になると、実収入が減ることは改善した方がよい。
- *B3は、残業がつかない分、給与を上げてほしい。

- ④本部事業系担当職はB2ですが、本部管理系担当職はB1となっています。

<秋闘分会で出された意見>

- *管理系と事務系で役割給に差があるのはおかしい！
- *本部での仕事でも担当は、事業系はB2で、それ以外はB1。バランス悪い。

- ⑤その他、毎年多額の調整給の取り崩しが発生している問題点、人材育成委員会が有効に機能しているかどうかという問題点、全体として組織風土改革に寄与する人事制度になっているかどうかという問題点、なども指摘されています。